

令和 6 年（2024 年）3 月 29 日  
都市計画推進部都市整備課

## 神崎川駅周辺整備基本計画（素案）に関する意見公募手続の結果について

令和 6 年（2024 年）2 月 1 日～2 月 21 日に実施した意見公募手続の結果は下記のとおりです。

### （1）集計結果

#### ①提出方法別提出人数と意見件数

	提出方法	提出人数（人）	意見件数（件）
1	郵便		
2	ファクシミリ		
3	電子メール	2	7
4	電子申込システム	4	8
5	所管課への直接提出		
6	その他		
	合計	6	15

#### ②市民等の区分別人数

	市民等	提出人数（人）	意見件数（件）
ア	市の区域内に住所を有する者	5	13
イ	市の区域内に事務所等を有する個人及び法人等	1	2
ウ	市の区域内に存する事務所等に勤務する者		
エ	市の区域内に存する学校に在学する者		
オ	市税の納税義務者		
カ	意見公募手続に係る計画等に利害関係を有するもの		
	その他（市民等の区分が未記入のもの）		
	合計	6	15

## (2) 提出意見の概要と市の考え方

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
1	第4章(1) P14	子どもたちがのびのび活動できる場所をつくってほしい。(スケートボードをするのに離れた服部緑地まで行かないといけない。義務教育学校の校庭は、狭く子どもたちは自由に遊べない現状がある)	いただいたご意見は今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
2	第4章(1) P14	広報とよなかの表紙に～ともに歩み ともに暮らす～とあるように子育てしやすいよう0才児から入れる公立のこども園を必ずつくってください。(子どもの本来持っている力を引き出し、小さいときから互いに知り合うことを学べるのは、託児所ではなく、保育のできる公立こども園です。)	いただいたご意見は今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
3	第4章(1) P14	暮らし続けられる町であるためには、特に庄内西小学校区に出てきている問題点を考え、高齢者が生き生きとすごせる、バリアフリーの居場所、施設とはどういうものか、当事者の立場にたって一緒に考えていきたいと思えます。	高齢者を含め多様な世代が共生する住環境の質の向上を整備方針の一つとしていることから、ご意見の視点も含めてまちづくりを検討してまいります。

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
4	第6章 P19	とよなか広報に説明会の案内が掲載されたのはよかったです。今後も、多くの方が参加できるよう知らせていただき、学習会や説明の機会を求めます。	今後は計画について理解を深めるための説明会の開催やまちづくりに興味を持っていただくためにイベント等で取組みについて発信を行ってまいります。
5	第4章(1) P14	都市計画の神崎川防災公園は、にぎわいを求める商業施設やマンション建設でなく、現在の公園面積を確保しみどりを残した計画にしてください。 豊中市内とりわけ南部庄内地域は緑地が少ないので、数少ない都市空間を残してください。	神崎川公園については、必要な面積を確保するとともに、みどりへの配慮も行なってまいります。
6	第1章及び全般	適用されるエリアを再開発するためには、大阪市との協力が不可欠であると思うが、他方、阪神高速池田線よりも西側のエリア（特に旧猪名川エリア周辺）を再開発する必要性も高い。西側エリアを再開発するためには尼崎市との密接な協調も必須と考える。 戸ノ内エリアの再開発などとリンクして開発する予定はあるのか？ 三国塚口線の計画もあることからその周辺エリアの活性化が、このエリア全体の活性化にもつながると思うが、これらについても検討が進められているのか？	都市計画道路三国塚口線が兵庫県の山手幹線と接続された場合は交通体系が大きく変わることが想定され、神崎川駅周辺のまちづくりにも寄与するものと考えています。 いただいたご意見は今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
7	第3章(2) P10	<p>市の低未利用地の活用は最大限検討していただきたい。</p> <p>一方で、民間の低未利用地についても、条例整備等の法的な検討も平行して実施してほしい。</p> <p>豊中市南部エリアにおいては、昔からの地主が管理する土地が多い。</p> <p>これは昔ながらの景観が保たれやすいという長所はあるものの、他方で無造作に放置された土地、建物も多く、また安易な駐車場設置などによって、地域の開発が阻害されていることも事実。</p> <p>有効な土地利用がされず放置された私有地に関して、なんらかの新陳代謝をおこなうための仕組み(規制)を検討する必要があると思うが。</p>	<p>低未利用地を活用し、本計画での検討エリアを一つの拠点としてまちづくりを進めることで、周辺の土地利用の活性化にも繋がると考えています。</p>
8	第3章(2) P10	<p>豊中市の南部は、神崎川、猪名川、旧猪名川、天竺川など、これほど水資源に恵まれている地域はない。</p> <p>ぜひとも、この地的有利性(反面水害リスクはあるものの)を、最大限利用するような計画をおこなってほしい。</p> <p>計画書にあるような水辺空間の良好な景観と有効活用についてはぜひ、検討してほしい。</p> <p>神崎川だけにとどまるのではなく、尼崎市と協調することで、神崎川～猪名川への船舶の利用環境など整備してほしい。</p> <p>また、現在、旧猪名川は、実質的に死んだ河(黒い水が淀んだ水)となっており、景観を活かすような取り組みは実施されていない。このエリアが活性化し、美しい街並みに変わるのをみてみたい。</p> <p>同様に、中央幹線景観水路も淀んだ水が停滞しており、周辺公園が整備されている一方で、十分な活用(景観)がされていない。</p> <p>水害対策という意味合いはあるのかもしれないが、水との接点があるような河川的设计開発をおこなってほしい。</p>	<p>本計画では、公園と水辺空間の一体的な整備により良好な景観を形成することが、賑わいや魅力の創出に繋がると考えています。いただいたご意見は今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
9	第4章(1) P13	<p>指摘の通り、現在、阪急電車神戸線（神崎川駅～庄本）によって、東西が分断されている。特に高齢者が居住している大島町、二葉町から大規模スーパー、病院、そしてショコラなどに行こうとすると、危険な踏切を越える必要がある。車椅子や自転車で横断することに恐怖を感じる年寄りも多い。</p> <p>ぜひとも、この再開発計画には、阪急電車の高架化を検討の優先事項に入れてほしい。</p> <p>人の流れががらっと変わり、高架下の店舗などが併設されれば、街の活性化が期待できる。</p>	<p>連続立体交差など的高架化については、事業費が膨大であり、影響も大きいことから慎重に検討を進める必要があります。いただいたご意見は今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
10	第4章(1) P14	<p>生活関連施設を含めた居住機能の誘導を検討するに当たり、交通の流れを十分に検討するだけでなく、最先端の交通システムの開発にも力を注いでほしい。</p> <p>自動車メーカーや国と提携を結んで、地域限定の無人のデマンド型小型モビルや、地域限定のライドシェアを導入することで、高齢者や障害者が安価に移動できるシステムを他の地域に先駆けて導入してほしい。</p> <p>また、豊中市の新しい学校南校ができた場合、現在の庄内西小学校のエリアの子どもが通学するためには、大きな道路をいくつも渡る必要がある。便利で安価（無料）なモビルシステムは不可欠。</p>	<p>いただいたご意見は今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
11	第4章(1) P14	<p>密集市街地に隣接していることから、未整備の都市計画公園に防災機能を持たせることは理解できる。その一方で、南部地域においては、豊中市におけるみどり率や緑被率の割合が全市域に比して大きく下回っており、身近にまとまった緑が少ないことから、他地域と比べて、子どもたちが自然に触れる機会も少ない。</p> <p>この公園は、新たに設置される南校にも近いことから、樹木やみどりも多く配置して、子どもたちが生物多様性を感じられるという内容を追加してほしい。これは、「豊中市みどりの基本計画」において「重点」に掲げられた、エコロジカルネットワークの形成（神崎川と隣接する公園のみどりの連携）にもつながる。</p>	<p>本計画については、地域特性を踏まえた駅周辺に求められる施設配置などの整備方針を示し、今後の事業化へ繋げることを目的としており、具体的な整備内容については、いただいたご意見も含めて今後検討していくものとし、記載については原文のままさせていただきます。</p>

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
12	第 6 章 P19	記載の通り、基本計画の実現に向けて時間がかかることは理解するが、最終的な実現は何年後の想定なのか。また、初期・中期・長期は、それぞれどれくらいの期間を見込んでいるのかなどがまったくわからない。現時点での想定であっても、大まかな期間等を記載してほしい。	本計画は駅周辺に求められる機能などの施設配置を示したものであり、事業化が決まったものではありません。今後は事業化に向けた取り組みを進めていくものの、P19に記載の内容は今後想定される進め方のイメージであり、将来の事業化の時期を表したものではないため原文のままとさせていただきます。
13	第 2 章 (3) P7	「近接地では義務教育学校（仮称）南校の開校を予定しており、子育て世帯の増加が見込まれることから、・・・」「避難スペースが不足しています」とありますが、そうであれば、廃校となる庄内西小学校区のことと同時に考えていかなければならないと思います。学校が遠くなる地域は子育て世代が離れていくのではないかと。また、どの世代にとっても学校がなくなれば避難施設はどうなるのかという心配がある。神崎川駅周辺だけでなく、廃校後の地域においても多様な世代が住み続けたいと思う環境、避難場所の確保が必要です。	本計画では神崎川駅周辺に求められる施設配置などの整備方針を示したうえで、南部地域の活性化や防災性の向上につながるまちづくりを目指すものとしています。本計画の実現が神崎川駅周辺だけでなく南部地域における住環境の向上に繋がると考えています。また庄内西小学校区の避難機能については、「南部地域の学校跡地に関する個別活用計画」において校舎・土地活用の考え方として災害時の避難所機能を維持するといった方針が示されており、廃校後も今までと同様に避難所機能が確保するとしています。
14	第 3 章 (1) P9	南部地域においては、音楽活動や和太鼓やエイサーなど大きな音の出る活動ができる場所がありません。イベントなどで披露する場や機会があっても練習場所がないのが豊中市の現状であり、「音楽のまち」をアピールしたり、伝統芸能の活動を応援するのであれば、練習場所の確保が必要です。魅力と賑わいの創出のためには、是非これらの練習場所となる施設の設置もお願いします。	ご意見も含めて具体的な整備内容については、本計画や「南部地域の学校跡地に関する個別活用計画」において今後検討してまいります。

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
15	第2章(2) P6	神崎川駅周辺もですが神崎川駅から島江町交差点の間道路狭いカーブの所も対向車とすれ違うのも危ないし歩行者自転車が来たら事故の原因にもなりかねないです。	注意喚起などの交通安全対策に努めてまいります。